

第 二 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体操           <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚の屈伸、胴の前後屈、開閉とび、向きかえとびなどを一連の運動として練習する</li> </ul> </li> <li>○腕立てとび越し           <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕立て馬のり、腕立てとび越しをする</li> </ul> </li> </ul>	大集団	T1 …体操指導 T2 …安全確認 個別指導
		大小集団	T1 …反復練習させながら技能基準により能力別編成 T2 …用具の点検 反復練習の指導
第三・四次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体操           <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動動作を大きくし、極限に近づける</li> </ul> </li> <li>○腕立てとび越し           <ul style="list-style-type: none"> <li>・2~3mの助走で開脚とび越しをする</li> </ul> </li> </ul>	大集団 小集団	T1 …体操指導 T2 …個別指導 T1 …A集団の個別指導 T2 …B C集団の個別指導
第五・六次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○徒手           <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕、脚、胴、支持、跳の運動を一連のものとして練習する</li> </ul> </li> <li>○腕立てとび越し           <ul style="list-style-type: none"> <li>・助走、ふみ切り、着手、着地がリズミカルにできるようにする</li> </ul> </li> </ul>	大集団 小集団	T1 …運動の要領を説明、指導 T2 …個別指導 T1 T2 …技能基準により能力別の再編成
第七・八次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○徒手           <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動動作を大きく極限に近づけるようにする</li> </ul> </li> <li>○腕立てとび越し           <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズミカルに態勢をくずさないでとび越す</li> </ul> </li> </ul>	大集団 小集団	T1 …運動の要領を説明、指導 T2 …個別指導 T1 …A集団の個別指導 T2 …B C集団の個別指導

⑦ 本時のねらい

- ⑦ 腕の拳振、回旋、脚の屈伸、体の前後屈・開閉とび、うさぎとび、向きかえとびなどの運動を一連の運動として行なうことができるようにならせる。
- ① 腕立てとび越しにはいろいろな飛び方があることに気づかせ、助走、踏み切り、着手、着地な

どの基礎的技能を伸ばさせる。

- ⑦ とび箱たてのとび越しで、できるだけ前方に手を着くことが大切であることに気づかせる。  
 開閉脚の腕立てとび越し（とび越せるもの）  
 開閉脚の腕立て馬乗り、台上とび上りとびおり（とび越せないもの）